



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 シリコンスタジオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 寺田 健彦
(コード：3907、東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員経営管理本部長 山田 隆仁
(TEL. 03-5488-7070)

スマートフォンゲーム「刻のイシュタリア」及び「逆襲のファンタジカ」の
タイトル譲渡に係るお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、当社のコンテンツ事業のスマートフォンゲーム「刻のイシュタリア」及び「逆襲のファンタジカ」のタイトルをマイネットグループの新設子会社である株式会社 S&M ゲームス（以下、「S&M ゲームス」）に対して、譲渡することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 資産譲渡の理由

当社グループでは2009年より、自社ミドルウェア技術を駆使したゲーム開発に着手し、自社が誇るクリエイティブ集団の高い技術力を、コンシューマーゲームの開発を通して、ミドルウェアの性能を実証して参りました。海外においても自社パブリッシングと協業を組み合わせ、北米、欧州、アジアに向けネイティブアプリの配信等積極的に展開をして参りましたが、2期連続で減収減益が続く状態となっております。

このような状況において、当社はコンテンツ事業の早期黒字化のためには、抜本的な構造改革が不可欠な状況にあり、当期（平成29年11月期）の下期以降リリースを控えている複数のコンテンツの計画通りのリリースを目指すべく注力しております。

この度、環境の変化と経営資源の選択と集中の観点から、現在継続して運営しているスマートフォン向けゲーム「逆襲のファンタジカ」及び「刻のイシュタリア」（日本国内版、英語版、繁体字版等の全世界を対象として配信するすべて（以下、「当該ゲーム」といいます。）の2つのタイトルをS&Mゲームスに譲渡することを決定いたしました。

当社において当該ゲームのタイトルの譲渡先としてマイネットグループ社の新設子会社 S&M ゲームスが適切であると判断した理由は、同社グループは、ゲームメーカーが制作したスマートフォンゲームを買取や協業により仕入れ、独自のノウハウでバリューアップした後に長期サービス運営を行うゲームサービス事業を営んでおります。現在は、ソフトウェア産業からサービス産業へと構造変化したゲーム産業の

中で、ゲームサービス業という新たな業態を確立していくことを目指して事業を行っており、ゲームタイトルの買収・バリューアップを手がけるゲームサービス事業のリーディングカンパニーとして業界を牽引している企業であることから、当該ゲームのタイトルを譲渡することとなりました。また、当該ゲームタイトルに係る運営メンバーについても、組織再編を目的として新たに設立した S&M ゲームスに加わる予定となります。

2. 本件資産譲渡の概要

(1) 譲渡する資産の内容

以下に掲げるゲームのアプリケーションに関する資産（当該ゲームのアプリケーションの運営メンバーも含む。）

- ・「逆襲のファンタジカ」（日本国内版）
- ・FANTASICA（英語版）
- ・「刻のイシュタリア」（日本国内版）
- ・Age of Ishtaria（英語版）
- ・魔女異聞録－伊絲塔利亞傳説（繁体字版）

(2) 譲渡価額及び決済方法

| | |
|------|------------------|
| 譲渡価格 | 200,000,000円（税抜） |
| 支払方法 | 一括現金決済 |

3. 対象アプリケーション等の譲渡先の概要

| | |
|---------------|----------------------|
| (1) 名称 | 株式会社 S&M ゲームス |
| (2) 所在地 | 東京都港区北青山二丁目 11 番 3 号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 上原 仁 |
| (4) 事業内容 | ゲームサービス事業 |
| (5) 資本金 | 10 百万円 |
| (6) 設立年月日 | 平成 29 年 5 月 1 日 |
| (7) 決算期 | 12 月 31 日 |
| (8) 大株主及び持株比率 | 株式会社マイネット 100% |

4. 日程

| | | |
|-----|--------------------|------------------|
| (1) | 資産譲渡契約締結に係る取締役会決議日 | 平成 29 年 5 月 10 日 |
| (2) | 資産譲渡契約締結日 | 平成 29 年 5 月 10 日 |
| (3) | 資産譲渡日 | 平成 29 年 5 月 31 日 |

5. 会計処理の概要

当該ゲームのタイトルの譲渡により特別利益を計上する見込みです。なお、当該特別利益の額については現在精査中であり未定ですが、確定後速やかに開示いたします。

6. 今後の見通し

本契約締結が当期連結業績（平成 29 年 11 月期）に与える影響は、現在精査中であり、重要な影響を与える見込みが生じた場合には、確定後速やかに開示いたします。

（参考）当期連結業績予想

（単位：百万円）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 |
|--------------------------------|-------|---------|---------|-------------------------|
| 当期連結業績予想 （平成 29 年 11 月期） | 8,097 | 56 | 66 | 43 |
| 前 期 連 結 業 績 （平成 28 年 11 月期） | 7,001 | △411 | △428 | △499 |

以 上